

令和6年度（令和5年度事業）

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和6年8月

常陸太田市教育委員会

目 次

I. 教育委員会施策の点検・評価の概要	1
II. 施策別点検・評価	
教育委員会施策の点検・評価書（令和5年度事業）	5
(施策名)	
1 地域資源に磨きをかけた観光の振興	5
2 子育てへの支援	6
3 豊かな心の育成	8
4 魅力ある学校づくり	10
5 多様な学習機会の支援	12
6 スポーツ・レクリエーション活動への支援	13
7 犯罪のないまちづくり	14
8 結婚・定住の推進	15
9 市民の地域活動への支援	16
参考 教育委員会の活動状況	17

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する
報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、常陸太田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する書類を別紙のとおり提出する。

令和6年9月2日

令和6年度教育委員会施策の点検・評価(令和5年度事業)の概要

1. 趣旨

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

2. 点検・評価の目的

○教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。
○点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

3. 点検・評価の対象

○令和5年度施策を点検・評価する。
・常陸太田市第6次総合計画後期基本計画における教育委員会所管の9施策

4. 点検・評価の方法

○施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。
○学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

（1）事務事業の評価

○施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。
○評価については、「a 期待した成果があった」、「b 一定の成果があった」及び「c 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。

（2）施策の総合評価

○事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。
○評価については、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の3段階で評価する。
○今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。
※必ず、教育部長確認済みの「点検・評価書」を提出してください。

(3) 学識経験者の知見の活用

○点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

○教育行政評価委員（敬称略）※

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	川松 愛美	市子育てネットワーク委員会委員長（世矢小）

（参考：令和5年度）

分 野	氏 名	所属等
学校教育	岡部 昌見	元学校長
社会教育	早川 忠雄	社会教育委員会議長
保護者関係	佐々木 沙織	市女性ネットワーク委員会委員長（峰山小）

5. 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への提出

○点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

(2) 市民への公表

○報告書を市ホームページにより公表する。

6. 点検・評価結果の概要（令和6年度（令和5年度対象））

○主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

総合計画における教育委員会所管の9施策（令和6年度（令和5年度事業））

	基本施策	施策の 総合評価	事 務 事 業	事務事業 評価	
				所管課	委員会
1	地域資源に磨き をかけた観光の 振興 (3事業)	B	1 指定文化財整備（文）	B	B
			2 市内遺跡調査（文）	B	B
			3 文化財公開（文）	B	B
2	子育てへの支援 (6事業)	B	1 幼稚園保育料の無料化（教）	A	A
			2 給食費無償化及び一部補助（教）	A	A
			3 図書館子育て支援ブックスタート（図）	A	A
			4 図書館子育て支援あかちゃんタイム、 ママ・プレママサロン（図）	B	B
			5 市立幼稚園・小中学校給食費の軽減（給）	A	A
			6 放課後子ども教室（生）	B	B
3	豊かな心の育成 (5事業)	A	1 学校図書整備（小学校・中学校）（教）	A	A
			2 みんなにすすめたい一冊の本推進事業 （指）	A	A
			3 あたたかな人づくり推進事業（指）	A	A
			4 小中学校と図書館の連携（図）	A	A
			5 人権啓発推進（生）	B	A
4	魅力ある学校づ くり (5事業)	B	1 3歳児クラスTT配置（教）	B	B
			2 市立幼稚園特別支援指導員配置（教）	B	B
			3 小学校TT特別配置（指）	B	B
			4 小学区特別支援教育指導員配置（指）	B	B
			5 活力ある学校づくり推進事業 （小学校・中学校）（指）	A	A
5	多様な学習機会 の支援 (3事業)	B	1 公民館地域活性化推進（生）	B	B
			2 地域資源活用講座事業（生）	B	B
			3 公民館整備（生）	B	B

6	スポーツ・レクリエーション活動への支援 (3事業)	B	1 ジュニア競技能力向上事業 (ス)	B	B
			2 スポーツ施設整備(新総合体育館整備事業) (ス)	B	B
			3 スポーツ施設整備 (運動公園整備事業) (ス)	B	B
7	犯罪のないまちづくり (1事業)	B	1 子どもの安全対策強化 (教)	B	B
8	結婚・定住の推進 (1事業)	B	1 移住・定住者への奨学資金返還免除制度 (教)	B	B
9	市民の地域活動への支援 (1事業)	B	1 エコミュージアム活動の推進(わがまち地元学事業・地域資源整備事業) (文)	B	B

計 28 事業

7. 施策別点検・評価

○別紙「教育委員会施策の点検・評価書（令和5年度事業）」による。

8. 事務スケジュール

- 5月 1日 各課等へ「点検・評価書」原案作成を依頼
- ↓
- 6月 2日 各課等により「点検・評価書」原案の取りまとめ
- ↓
- 評価委員会提出用「点検・評価書」の作成
- ↓
- 8月 2日 教育行政評価委員会の開催（外部評価）
- ↓
- 「点検・評価に関する報告書」の作成
- ↓
- 8月22日 教育委員会定例会に提出
- ↓
- 9月 2日 市議会定例会に提出（定例会初日に議場配布）

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	I 安心して働くことのできる仕事の場づくり
	政策	1 産業振興と新たな雇用創出による仕事の場づくり
	基本施策	4 地域資源に磨きをかけた観光の振興
		(4)歴史資源の保護・活用
	施策の概要	・文化財の保護・活用 ・文化財に触れる機会の拡充

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	①指定文化財整備	・修繕や整備が必要な文化財の所有者へ補助金を交付し、保存・活用を図る。 ・文化財の巡視を行い、所有者に対し助言を行う。	(文化財所有者に対し補助金の交付) ・国指定文化財 佐竹寺(継続)防災設備保守点検 (文化財の巡視を行い、所有者に対し助言する) ・指定文化財について文化財保護協力委員、樹木医と協力し巡視(所有者に対し軽微な助言20件:注意喚起の看板設置・日常管理のアドバイスなど)を行った。	B	B
	②市内遺跡調査	(梵天山古墳群周辺遺跡の保存活用) ・県内第2位の島町の梵天山古墳とその周辺には100m級の大型古墳が3基のほか、古墳時代前期の貴重な古墳が存在し、文化庁からも国指定の価値が十分にあるという指摘を受けていることから、今後の保存活用を図るためにも国指定申請を行うことを目的とした詳細調査を行う。	(梵天山古墳群周辺遺跡の保存活用) ・梵天山古墳出土遺物の基礎整理を行った。 ・国指定申請のための追加調査をおこなうため、梵天山古墳及び星神社古墳の調査費用について令和6年度国庫補助金の申請を行った。	B	B
	③指定文化財公開	(指定文化財集中曝涼) ・普段は公開されていない文化財を積極的に公開し、文化財保護意識の高揚と文化財を地域の宝物として守るという地域コミュニティの活性化を進めるとともに、交流人口の拡大につなげていく。	公開場所が4か所増え、23箇所を実施。また、茨城デスティネーションキャンペーンをはじめとする多くの媒体にて広報し、2日目は、雨天中止となった公開場所があったが、延べ6,346人の来場者があり、過去5年間で3番目の来場者数となった。	B	B

	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
施策の成果 を示す 主な指標	指定文化財等保存整備補助金交付件数(件)	1	2	1	B	B
	西山御殿(西山荘)来訪者数(人)	9,269	10,180	9,574	B	B
	集中曝涼来訪者数(人) ※[]内は、動画視聴者数	[5,104]	7,545	6,346	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【指定文化財整備・市内遺跡調査・文化財保護】 引き続き指定文化財を積極的に公開し、文化財に触れる機会の拡充に努め、文化財保護意識の高揚及び文化財の保護・活用に努める。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・3つの事業は交流人口を呼び込める事業であり、改善を重ね今後も継続して実施していただきたい。 ・施策の成果を示す主な指標に個人所有の来訪者(人)を教育委員会の成果にいれていいのか検討願いたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	教育総務課
	図書館
	学校給食センター
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	1 安心して子育てのできる環境づくり
	基本施策	5 子育てへの支援
		(1)子育て家庭への支援
		(3)地域ぐるみの子育て支援
	施策の概要	・子育ての学習機会や情報提供の充実、交流の場の確保。 ・子育て家庭への経済的支援を充実。 ・子どもの居場所の確保・充実。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園保育料の無償化	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)に対し、保育料の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	給食費無償化及び一部補助	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。	市内在住の幼稚園児(1号認定者)が市外の幼稚園に通園する場合に対し、給食費の無償化を実施。 各家庭の経済的負担の軽減が図られた。	A	A
	図書館子育て支援(ブックスタート)	健康づくり推進課の乳児相談会場に出向いて実施する。乳児健診対象者にブックスタートパック(トートバッグ、絵本2冊)を贈呈し、絵本を介したあかちゃんとのふれあい方法についてアドバイスをを行う。(対象者:令和4年11月から令和5年10月生まれの乳児)	令和5年度対象者195名、受領者185名(内訳:実施日149名 後日29名 転入7名)、未受領者(10名)。乳児健診相談日に来なかった方については個別に連絡を行った。ブックスタートを行うことにより、まだ言葉を話さないあかちゃんが絵本に反応することについて保護者に気づかせることができ、また、家庭において親子が本を介したふれあいを実践・継続することによって、あかちゃんが言葉に対する興味をもち、本に親しむ習慣の醸成を図っている。	A	A
	図書館子育て支援(あかちゃんタイム、パパママ・プレママサロン)	保護者があかちゃんの泣き声等に気兼ねなく図書館を利用できる時間帯(あかちゃんタイム)を設けている。(毎月第1・3木曜日10時30分～正午) あかちゃんタイムの時間帯に併せ、パパママ・プレママサロンとして図書館ボランティアによる読み聞かせ、妊娠・出産・育児等の本の紹介、パパママさん同士の情報交換を行っている。パパママ・プレママサロンの一環として、子育て親子を対象にワーク	あかちゃんタイム実施により、親子で図書館を訪れやすい環境をつくることのできている。 令和5年度は24回実施し、150名の参加があった。 図書館での楽しい体験が保護者・子どもの読書への関心や図書館利用に繋がっている。 過去の実績 R2 1回 18名 R3 19回 156名 R4 23回 126名	B	B
	市立幼稚園・小中学校給食費の軽減	小学校の児童・中学校の生徒に対する給食費を1/2に減額及び市立幼稚園・こども園の市内在住園児は無償。	給食費の減額及び無償により、子育て家庭への経済的支援を行い、子育て世帯から感謝の声をいただいている。引き続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めていく。	A	A

	放課後子ども教室	・小学校低学年生の放課後の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守りながら一緒に活動し、子供たちが安心して自由に「学び」「体験」「交流」「遊び」ができる環境をつくる。	・市内全小学校区で実施 4小学校区・・・週1回、3小学校区・・・週2回、1小学校区・・・週3回 ※実施日数408日、参加児童数178人 サポーター登録人数68人 ・サポーターとの交流により児童が放課後の一時を生き生きと過ごす事が出来ている。 ・サポーターの登録が減少傾向にあることから市ホームページやお知らせ版を活用し登録を呼びかけたことにより、2名の登録者を確保することが出来た。	B	B
--	----------	---	--	---	---

施策の成果を示す 主な指標	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	幼稚園(1号)保育料無償化 認定者数(人)	148	171	162/162	A	A
	幼稚園(1号)給食費無償化 認定者数(人)	148	171	162/162	A	A
	ブックスタートバック贈呈率(%)	95	98.7	94.9	B	B
	パパママ・プレママサロン参加者数(人)	156	126	150	B	B
	学校給食費減額対象者数(人)	3,037	3,051	2,966/2,966	A	A
	放課後児童クラブとの連携数(箇所)	12	8	8	B	B
	サポーター配置目標の達成率(%)※目標は市全体で100人	102	73	68	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【幼稚園(1号)保育料・給食費無償化】 令和元年度から、国の施策に基づき幼稚園児(3歳児以降)の保育料を無償化としており、子育て世代の経済的負担の軽減を図る施策として有効に機能していると考えられる。今後も継続していく必要がある。
	【図書館子育て支援】 ブックスタートは、絵本を介しあかちゃんとのふれあいを持つ機会となることや、幼少期から本に親しむ習慣を身につけるため、今後も継続して実施する。
	【図書館子育て支援】 ①あかちゃんタイムは、継続して実施する。 ②パパママ・プレママサロン及びワークショップは、継続して実施する。
	【市立幼稚園・小中学校給食費の軽減】 ①令和2年4月から市内在住の市立幼稚園とこども園の園児の給食費を無償とした。引続き子育て世帯への経済的支援が図られるよう努めるとともに、保護者に対し負担軽減の趣旨を伝えていく。 ②令和4年6月から物価高騰の影響により給食の質・量及び栄養価等を満たすため給食費を値上げし園児等の増額分を市で負担することにより保護者への負担軽減を更に実施する。
	【放課後子ども教室】 サポーターの高齢化、また、登録人数が年々減少傾向にあることが課題である。また、学校ごとに登録人数にバラつきがある。現サポーターに対し引き続き登録をお願いすることはもとより、新たなサポーターの発掘のため声掛けを行って貰っているが、事業が平日実施の為、手が空いている方が少なく確保が難しいのが現状である。今後も引き続き市ホームページ等を活用し、広くお知らせをし、サポーターの確保に努める。

教育行政 評価委員 による意見	・物価高・低賃金・ひとり親家庭など様々な負の要因の多い現状下で公的支援・助成制度は非常に役に立っている中で、食材の高騰もあり給食センターも大変ですが、ぜひ継続して保育料・給食費の無償化及び給食費の1/2軽減を継続していただきたい。 ・給食費の1/2の軽減は有難いが、近隣市では完全無償化をしているところもあると聞こえてくるので検討してほしい。 ・放課後こども教室事業は、平日の事業でサポーターの確保にもご苦労されていると思うが何とか継続していただきたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室
	図書館
	生涯学習課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	2 郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	6 豊かな心の育成
		(2)感性や創造力向上推進
		(3)道徳・人権・福祉教育の推進。
施策の概要	・学校図書の充実及び学校と図書館のネットワークによる、児童生徒の読書活動の推進。 ・豊かな体験活動をととした、人権教育や福祉教育の推進。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書整備(小学校・中学校)	文部科学省が設定する学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書整備を行う。	図書標準冊数は、平成24年度より基準を満たしている。 図書購入費の継続的な確保により、経年劣化した図書の廃棄や新規図書の購入など、定期的な入替えが実現できている。	A	A
	みんなにすすめたい一冊の本推進事業	小学生は年間50冊、中学生は年間30冊以上の本を読んだ児童生徒に賞状の授与を行い、一人一人の読書活動の質的・量的な充実を図る。	読書カードの電子化や授業での図書室利用を通して、図書室の有効活用を図り、児童生徒が読書に親しむ機会を確保することができた。 ○みんなにすすめたい一冊の本事業 ・小学校(50冊以上)…86% ・中学校(30冊以上)…30%	A	A
	あたたかな人づくり推進事業	規範意識の醸成と安心して学べる学校、学級づくりの推進	ハイパーQUアンケートの年2回の実施により、児童生徒の実態を客観的に捉え学級経営に生かすことができた。また、結果分析に係る研修会の会場を小学校に移すことで、より多くの担任が参加できるようになり児童生徒理解が深まった。	A	A
		学校全体で取り組む道徳教育、人権教育の充実	平成30年度からの道徳の教科化により、道徳性の育成がさらに重点化され、日常的な人権課題やいじめ等の課題を取り上げた「考え議論する道徳」が実践された。	A	A
		親子ともみがき活動の展開による家庭教育の充実	幼少期の家庭教育の大切を捉え直し、PTA企画や地域行事を核とした親子学習会や地域の再発見につながる活動を推進することができた。PTA親子奉仕作業なども家族の絆を深めるよい機会となった。	A	A
	小・中学校と図書館の連携	小・中学校読書用図書や授業教材図書の団体貸し出し・校外学習・職場体験・ブックトーク・出前講座の実施	各学校の要望に応え、読書用図書を教室に配置するとともに、教材用図書を提供し、教育の充実に努めた。 ・団体貸出 8,258冊(小・中学校の合計) ・校外学習の図書館受入 11校 ・ブックトーク 10回(1校)	A	A
	人権啓発推進	・人権について関心を高めるために、毎年人権週間に合わせて「ハートフルフェスタひたちおおた」を開催する。	・新型コロナウイルス感染症対策により、過去3年間開催を見送ってきた人権に関する講演会を4年ぶりに開催することができた。著名人(木山裕策氏)による講演会であったこともあり来場者のアンケート結果は「とてもよかった。」という声が多数寄せられた。また、人権を担当する生涯学習課と社会福祉課の連携のもと、来所者に啓発グッズの配布を行う等、多くの市民に対し啓発を行う事が出来た。 ・県が主催する研修会へ職員が参加をし、人権教育を学ぶことができた。	B	A

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	学校図書館図書標準充足率(小・中学校平均)	149%	149%	146%	A	A
	小学生(4・5・6年)年間で50冊本を読んだ児童率	96%	90%	86%(県63%)	A	A
	中学生(1・2・3年)年間で30冊本を読んだ生徒率	32%	31%	30%(県16%)	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合	93%	92%	94%	A	A
	全国学力学習状況調査アンケート「今住んでいる地域の行事に参加していますか」児童生徒割合	52%	50%	51%(県47%)	A	A
	小・中学校への団体貸し出し冊数	3,718冊	3,611冊	8,258冊	A	A
	人権啓発事業(講演会等)への参加人数(人)	133人	188人	235人	B	A
施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)		B 一定の成果があった(目標どおり)		C 見直しや改善が必要	
事務局評価			○			
委員会評価	○					
課題と 今後の方向	【学校図書整備】 子どもたちの感性や創造力向上を推進する読書活動の拠点となる学校図書の充実を図るため、学校規模及び整理状況に応じた図書整備を今後も継続的に行う必要がある					
	【みんなにすすめたい一冊の本推進事業】 読書タイムの工夫や学校図書館のさらなる活用を検討する中で、電子書籍と紙の本の使い分けを行いながら、読書習慣を身に付けられるようにしていく必要がある。 【あたたかな人づくり推進事業】 ①コロナ禍の影響もあり増加傾向にある不登校の課題に対処するために、自己肯定感やコミュニケーション力を向上させるための教育活動を展開していく必要がある。 ②学校の特色として3年間取り組んできた「ふるさと教育」の成果を活かすとともに、自分の夢や故郷の将来を考え実現させるために、自ら実践していく力を身に付けさせたい。 【小・中学校と図書館の連携】 図書館で所蔵する図書資料を、読書用図書や教材用図書として活用されるよう、引き続き学校図書司書や教科担当との連携を図る。 【人権啓発推進】 ①人権週間(12/4～12/10)にあわせ、「ハートフルフェスタひたちおた」を継続して実施していく。 ②3年間中止としていた講演会を令和5年度は例年通り各種団体と共催により実施した。					
教育行政 評価委員 による意見	・学校図書整備やみんなに進めたい一冊の本推進事業は、学校においても本に親しむ児童生徒が増え、感性や想像力の向上につながり将来の夢を育むことができるのでぜひ継続してほしい ・みんなにすすめたい一冊の本推進事業の読書率に学校間格差があると聞いている、差がなくなるよう事業を進めてほしい。 ・人権啓発事業は社会福祉課との連携もあり多くの市民に啓発できたのは大変すばらしい。そのうえで開催された講演会は大変よかったので大人・保護者だけでなく子どもたちにも伝える環境があるといい。					

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	教育総務課
	指導室

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	2 郷土を愛し未来を拓くひとづくり
	基本施策	7 魅力ある学校づくり
		(1) 確かな学力の向上
		(2) 特別支援教育の充実
		(4) 教育環境の整備・充実
		(5) 特色ある学校づくりの推進
施策の概要	・支援を必要とする幼児、児童・生徒一人一人に応じた適切な指導。 ・多様なニーズと地域性に配慮した幼稚園、小・中学校の規模・配置の適正化。 ・各学校において、全国学力・学習状況調査、学力診断のためのテストや体力テスト等の分析をもとにした、活力ある学校づくりを推進。 ・地産地消による安全な農産物の種類や量の安全確保により、食育を推進。	

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果			担当課 評価	委員会 評価
	3歳児クラスTT配置	3歳児11名につきTT講師を1名配置している。担任教諭の補助として園児を指導している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果が期待できた。			B	B
	市立幼稚園特別支援指導員配置	特別支援教育を要する児童について、園長から配置要望を受け、関係機関との協議のうえ配置している。	園児と教諭、保護者との関係構築が図られ、また、園児は集団生活での適応性が確保され、教育上の効果があった。			B	B
	小学校TT特別配置	児童生徒の学力の実態を踏まえ、一斉指導の中での個別指導や少人数指導を充実させて、学力の向上を図る。	担任とTT指導員が協働して授業づくりを行い、一斉指導と個別指導の充実を図ることで、児童生徒一人一人の学習意欲や知識技能を向上させることができた。			B	B
	小学校特別支援教育指導員配置	発達障害を含め、特別な配慮を要する児童生徒に対する教育的支援を充実させ、学校生活の安定化を図る。	教職員との連携を通して児童理解を深め、個に応じた介助を継続させることで、児童生徒の落ち着いた学校生活や集中した学習を保障することができた。			B	B
	活力ある学校づくり推進事業	児童生徒の学力の実態を分析し、学力向上を目的として教職員一人一人の授業力向上を目指す。また、研究組織としての協働体制を確立し、校内の課題研究の推進力と実践力を育む。	〈小学校〉学習の基盤となる学習のきまりを統一して実践することで、児童の主体的に学ぼうとする態度を養うことができた。また、協働学習の場面では児童の深い学びが見られ、授業改善を図ることができた。			A	A
			〈中学校〉「個別最適な学び」と「協働的な学び」とのベストミックスを意識して、ICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組むことができた。また、小中連携による9年間の学びを実現させるための教職員の意識が高まった。			A	A
施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)		R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	3歳児TT講師配置人数		1	1	1/1	B	B
	市立幼稚園特別支援指導員配置人数		11	9	5/5	B	B
	小学校TT配置学校数		10	6	6/8	B	B
	小学校特別支援教育指導員の配置人数		34	34	34/34	B	B
	活力ある学校づくりの学校関係者評価(4段階)		3.9	3.9	3.8	A	A
	「授業がわかる」と答える児童生徒の割合		95%	92%	95%	A	A
	「学校が楽しい」と答える児童生徒の割合		93%	92%	94%	A	A

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【3歳児クラスTT配置・市立幼稚園特別支援指導員配置】 初めて幼稚園に入園する園児にとって、個々の面倒を見てもらえるTT講師が配置されることによって、安定した園生活ができている。また、園児の生活の様子(生活習慣・行動・遊び・運動・対人コミュニケーション等)を把握し、必要に応じ特別支援指導員を配置していくとともに、園児の発達段階に応じた対応もさまざまであることから、特別支援指導員等の質の向上を図るための研修の機会を積極的に確保していく必要がある。 【小学校TT特別配置】 県費加配教員の配置状況を確認しながら、初任者配置校や複式学級のある小規模校への配置を検討していく必要がある。複数での授業を定着させ、きめ細かな学習指導につなげたい。 【小学校特別支援教育指導員配置】 発達障害及び特別な配慮を要する児童生徒の割合が全体の1割程度に拡大している。今後も人材の確保と安定した支援を保障していく必要がある。 【活力ある学校づくり推進事業】 学校数の減少に伴い年度間の指定校を2校から1校に変更する。指定校の役割として、最先端の教育技術を導入していくモデル校として、参考となる研究実践を公開していく必要がある。
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・一人でも多く配置してほしい要望があると推察されるなか、市独自で人員配置をしていただけるのは園児・児童の学び充実を図るため大変素晴らしい取組だと感じているので、是非継続していただきたい。またレベルアップを図るための体制づくりをお願いしたい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	生涯学習課
	生涯学習センター

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり
	政策	3 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり
	基本施策	8 多様な学習機会の支援
		(1)生涯学習活動機会の充実
施策の概要	・時代の要請に的確に対応した学習プログラムの提供 ・生涯学習センター等における生涯学習活動の充実	

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	公民館地域活性化推進	・地区公民館活動の活性化を図るとともに、公民館職員の研修や講演会を実施。 ・一般教養、家庭教育・健康、女性、青少年、高齢者、スポレク・コミュニティ、趣味の7つの分野に分かれ、バランスのとれた教室・講座等を開催する。	・地域コミュニティの振興やネットワークの強化を図り、「人づくり」「まちづくり」に資するため、市内11の公民館において、105の教室、講座を運営し、開催延回数904回、参加者14,041人となった。新型コロナウイルスが5類に移行されたことから制限がなくなり、ほぼコロナ禍以前に戻り、一定の成果は得ることが出来た。	B	B
	地域資源活用講座事業	・地域を知る学習機会の充実をはかるため、地域資源(物・人)を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。	・4地区の学習センターで、14の講座を開催した。令和5年度はコロナ禍後となり、受講者数は3,329人で、昨年(2,898人)より431人増加した。地域資源を活用した健康に対する意識向上及び地域を知る学習機会の提供となった。	B	B
	公民館整備	・公民館の利便性の向上を図るため、優先順位を決定して計画的な施設整備を行う。	・施設・設備を整備することにより、地域における社会教育・生涯教育の拠点としての公民館の機能向上が図られた。 ・太田公民館 エアコン設置(小会議室) ・佐竹公民館 玄関ドア修繕	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	公民館事業参加者数(人)	10,659	13,251	14,041	B	B
	地域資源活用講座事業(人)	2,429	2,898	3,329	B	B
	公民館整備事業件数(件)	2	2	2	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【公民館地域活性化推進】 ①世代間交流事業などに取り組むことが困難な地域もあるが、広域的な事業の取り組みや地域間交流など、新たな事業展開への取り組みも見受けられる。 ②地域の特性を活かし、ニーズに合った公民館活動が重要である。今後、新たなコミュニティへの移行が推進されていくことから、地域・関係各課との調整を図りながら進めていく。
	【地域資源活用講座事業】 ・地域の資源等を活用した講座については、マンネリ化し飽きられないようアンケートを実施し、要望等を取り入れながら、内容の見直し等を行い、積極的に講座を実施していく。
	【公民館整備】 ①優先順位を検討しながら計画的な施設整備を行う。 ②常に施設管理を的確に行い、施設利用者の利便性を図っていく。

教育行政 評価委員 による意見	・公民館地域活性化推進事業については、昨年度に引き続き前年より参加者が増えており、想定した成果が十分にみられていると感じる。 ・公民館整備事業では、大きな整備はもちろんですが、小さなこまごました整備修繕等も細かく対応していて大変ありがたいことなので今後も続けてほしい。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課 スポーツ振興課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅱ 夢を育み健やかに生きるひとづくり				
	政策	3 夢と生きがいをもって活躍するひとづくり				
	基本施策	11 スポーツ・レクリエーション活動への支援				
		(1)スポーツ・レクリエーションの推進				
		(2)スポーツ団体への支援				
		(3)施設の充実と有効活用				
施策の概要	(4)高齢者・障がい者の健康体力づくりの推進					
	・子どもスポーツ活動の推進。 ・新総合体育館の整備。 ・各地区の特性やスポーツ施設の特徴に応じた計画的な整備。 ・高齢者や一人一人に合わせた気楽に楽しめる生涯スポーツやレクリエーション活動の推進。					

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果			担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業	・運動に関する専門的知識を有する指導者によって、子どもたちが運動の楽しさを体験し、体を使った遊びに意欲的に取り組むとともに、教諭が日常の園生活での指導について研修する機会として実施する。	○幼稚園(2園)保育園(5園)、認定こども園(4園)において各園2回実施(計22回) ○回数を重ねるごとに子供たちは、積極的に取り組むようになった。 ○通常の園活動でマット運動や鉄棒などの指導に役立っている。			B	B
	スポーツ施設整備 (新総合体育館整備事業)	・現市民体育館の老朽化等に伴い、新たな新総合体育館を山吹運動公園内に整備する。	○検討委員会等で基本的な設計図書(配置・平面等)の作成及びパブリックコメントを実施し、市民・団体等からの意見を聴取し、新総合体育館整備実施設計業務委託(R4繰越)を完成させた。 ○駐車場予定地の沈下対策のため、地盤解析業務委託を行い、対策工法の検討を行った。 ○市民体育館解体工事(R4繰越)が完了			B	B
	スポーツ施設整備 (運動公園整備事業)	・スポーツ施設の計画的な改修を行い、安全安心に使えるよう維持管理に努める。	○山吹運動公園野球場防球ネット整備工事に着手し、R6年度完成に向け整備を進めている。 ○町田運動公園整備事業に着手し、R6年度完成に向け整備を進めている。 ○大里ふれあいプールの基本設計を発注し整備方針を検討している。(繰越)			B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)		R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	ジュニア競技能力向上事業参加者数(延べ人数)		954	1,076	984	B	B
	スポーツ施設利用者数(人)		100,861	121,459	106,149	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)		B 一定の成果があった(目標どおり)		C 見直しや改善が必要	
事務局評価			○			
委員会評価			○			

課題と 今後の方向	【ジュニア競技能力向上事業・スポーツ施設整備】 市民のライフステージに応じ、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める必要があり、2019年3月に策定した「常陸太田市スポーツ推進計画」に掲げた以下の3つ項目を柱として各種施策に取り組んで行く。 ①子どもたちが将来にわたってスポーツを楽しむための能力と心身の育成を図るための「子どものスポーツ活動の推進」 ②高齢者や障がい者などが年齢や体力等に応じた生涯スポーツ活動と健康増進に取り組むための「スポーツを通じた健康増進」 ③利用者が常に安心安全で、快適に活動できるための「スポーツ施設の整備を適切に管理」				
--------------	--	--	--	--	--

教育行政 評価委員 による意見	・先生も園生活での指導に役立っていたり、園児にとっては幼少期から専門的な指導を受けられるのは大変有意義であるので継続していただきたい。 ・新体育館は一大事業で整備の過程ではあるが順調に進んでいると感じており、どのような体育館ができるのか楽しみである。 ・高齢者の健康維持、障がい者の方のスポーツを通じての健康増進に役立つように他課との連携を図り進めてほしい。				
-----------------------	---	--	--	--	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	教育総務課
-----	-------

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ 暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	1 安心・安全なまちづくり
	基本施策	14 犯罪のないまちづくり
		(3) 子どもの安全対策
	施策の概要	・登下校時の安全対策の強化。

施策に対する 事務事業 の 概要・成果・ 評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	子供の安全対策強化	登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域子ども安全ボランティアの登録推進及び通学路危険箇所の安全点検を実施	地域子ども安全ボランティアによる登下校の見守り運動及び警察・道路管理者等の関係機関による通学路の危険箇所改善により、子どもの安全確保が図られた。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	529	529	531	B	B
	「子どもを守る110番の家」設置数	372	372	369	B	B
	危険箇所改善数(件)	41/55	17/25	14/27	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【子供の安全対策強化】 「地域子ども安全ボランティア」及び「子どもを守る110番の家」の地域住民等による安全対策は、高齢化のため登録数が横ばい傾向にある。また、警察及び道路管理者等の関係機関と連携を図り、通学路における危険箇所対策要望箇所の対策を速やかに行い、児童生徒の安全確保が重要である。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・子どもを守る110番の家の登録について、一度登録した家はずっと登録したままのか再確認・点検をお願いしたい。 ・地域子ども安全ボランティアには朝夕に見守っていただき安全に登下校でき大変ありがたいので継続していただきたい。 ・道路管理対策の草刈において、看板・標識が視認できるようにお願いします。
-----------------------	---

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課	教育総務課
-----	-------

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ 暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	3 地域の特性を生かしたコミュニティづくり
	基本施策	24 結婚・定住の促進
		(2) 移住・定住の促進
	施策の概要	・UIターン者への支援。

施策に対する 事務事業 の概要・ 成果・評価	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
	移住・定住者への奨学資金 返還免除制度	返還免除対象者が申請した 場合に当該年度の奨学資金 の全部又は一部の返還を免 除することができる。	市内定住及び就労に結び付いている。	B	B

施策の成果 を示す 主な指標	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
	奨学資金返還免除を利用した人数			28	B	B

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	【移住・定住者への奨学資金返還免除制度】 令和5年度から前年度までの奨学資金返還助成制度から移行した制度であり次年度も継続して実施
--------------	--

教育行政 評価委員 による意見	・助成から免除となり、奨学資金を借りた方は大変ありがたい制度なので次年度もぜひ継続していただきたい。
-----------------------	--

教育委員会施策の点検・評価書(令和5年度事業)

担当課 文化課

総合計画 における 位置づけ	基本目標	Ⅲ暮らしやすく楽しむことのできるまちづくり
	政策	3地域の特性を活かしたコミュニティづくり
	基本施策	25市民の地域活動への支援
		(1) 地域コミュニティへの支援
		(3) 多世代交流機会の創出
	施策の概要	・エコミュージアム活動を通じた地域の良さの再確認や愛着心の育成 ・エコミュージアム活動等による多世代交流の促進

	事務事業名	事務事業の概要	主な成果	担当課 評価	委員会 評価
施策に対する 事務事業の 概要・成果・ 評価	エコミュージアム活動推進	・「わがまち地元学事業」として、地域の自然、歴史、文化等を地域のお宝として探索し、お宝マップを作成する等の取り組みへ支援する。	・取り組み地区は前年度からの継続2地区(瑞龍一・二合同、折橋)で、ともにお宝さがしの成果から、地域をどのようにしたいかを構想し、報告書にまとめるところまで至った。	B	B
		・「地域資源整備事業」として、お宝の解説看板、地域散策マップ、ハイキングコース整備、来訪者のためのベンチ作り等の取り組みへ支援する。	・取り組み地区は「わがまち地元学事業」を行った2地区(瑞龍一・二合同、折橋)で、お宝の案内板、散策マップ等を作成、地区に引渡し事業完了となった。(設置時期は地区の任意、瑞龍は3月設置、折橋は4月設置、一部を夏頃までに設置予定)		
		・「地域交流事業」として、上記の活動で発見されたお宝を活用し、自然体験学習や途絶えてしまった地域独自の行事復活等の取り組みへ支援する。	・取り組み事業は10事業(7地区)の予定であったが、1事業が事業終了、1事業が中止となり8事業(5地区)の実施となった。一部事業はコロナ禍による中止期間に経験者が減少したことなどからボランティアや地区外からの参加を取りやめ規模を縮小して実施、十分な交流につなげることができなかった。		

	指標名(単位)	R3	R4	R5	担当課 評価	委員会 評価
施策の成果 を示す 主な指標	エコミュージアム活動実施地区(町会等)数: 累計	33	36	36	B	B
	* 活動は年度を越えて継続するので指標は累計とする。					
	* 瑞龍町は一、二合同のため取り組み数は1だが、地区数は2とする。					

施策の 総合評価	A 期待した成果があった(目標以上)	B 一定の成果があった(目標どおり)	C 見直しや改善が必要
事務局評価		○	
委員会評価		○	

課題と 今後の方向	市が主体となって推進するエコミュージアム活動は令和5年度をもって終了、今後、地域から取り組みを希望する声があがった際には、その手法についてアドバイスをする立場で関わっていく。
--------------	---

教育行政 評価委員 による意見	・平成19年度に始まり令和5年度に終了ということで非常に長い期間の事業でその成果を踏まえて終了ということで大変ご苦労さまでした。取組まれた地域においても大きな成果が得られたのではないかと思います。
-----------------------	--

参考 教育委員会の活動状況

1 教育委員会教育長・委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員〔令和6年3月31日現在〕

職 名	氏 名	任 期
教育長	滝 睦美	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで
委員 (教育長職務代理者)	岩間 敦子	令和3年4月1日から令和7年3月31日まで (令和3年10月5日から令和7年3月31日)
委員	小澤 和彦	令和3年10月5日から令和7年10月4日まで
委員	谷下田 幹子	平成31年4月1日から令和9年3月31日まで
委員	萩谷 浩司	令和2年4月1日から令和6年3月31日まで

2 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、令和5年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件 名
令和5年4月1日	5名	協議会 ・教育委員会事務局職員紹介 ・令和5年度市立小学校入学式の出席について
令和5年4月27日	5名	定例会 ・常陸太田市奨学生選考審査会委員の委嘱について ・常陸太田市立学校運営協議会委員の委嘱及び任命について ・常陸太田市学校事務の共同実施グループに係る中心校と連携校の指定について ・常陸太田市学校事務共同実施グループの事務長の任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について ・常陸太田市学校評議委員の委嘱及び任命について・ ・常陸太田市立中学校部活動外部市道員設置要項の制定について ・令和5年度教育委員会主要事業の概要について ・職員の発令について（報告）
令和5年5月24日	5名	定例会 ・常陸太田市学校評議委員の委嘱について ・常陸太田市図書館協議会委員の任命について

		・常陸太田市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
令和5年6月22日	4名	定例会 ・令和5年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について（報告） ・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市文化財保護審議会の委嘱について
令和5年7月11日	5名	臨時会 ・令和6年度使用小・中学校教科用図書採択について
令和5年7月27日	5名	定例会 ・和解に関する専決処分について（報告） ・常陸太田市教育委員会共済及び後援承認事務取扱要項について
令和5年8月23日	3名	定例会 ・公共施設の料金改定に伴う関係条例の整備について
令和5年9月20日	5名	学校訪問 すいふこども園、水府小中学校
令和5年9月22日	5名	定例会 ・令和5年度常陸太田市一般会計補正予算（第6号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について（報告）
令和5年10月24日	5名	学校訪問 うぐいすこども園 金砂郷小学校、金砂郷中学校
令和5年10月26日	5名	定例会 ・常陸太田市立図書館の設置及び管理管理に関する条例施行規則の一部改正について
令和5年10月27日	5名	学校訪問 さとみこども園、里美小・中学校
令和5年11月1日	5名	学校訪問 幸久幼稚園、峰山小学校、峰山中学校
令和5年11月22日	4名	定例会 ・常陸太田市民交流センターに係る指定管理者の指定について ・令和5年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について
令和5年12月20日	5名	定例会 ・常陸太田市スポーツ大会出場補助金交付要項の一部改正について ・常陸太田市学校等給食費徴収規則の一部を改正する規則について
令和6年1月26日	5名	定例会

		・令和５年度常陸太田市一般会計補正予算（第１０号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について（報告）
令和６年２月２０日	５名	定例会 ・常陸太田市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について ・常陸太田市奨学金貸与条例施行規則の一部改正について ・令和６年度常陸太田市一般会計予算案（教育費関係）の編成に対する意見について
令和６年３月１１日	５名	市内中学校卒業式
令和６年３月１５日	５名	臨時会 ・令和５年度常陸太田市一般会計当初予算（第１２号）（教育費関係）の編成に対する意見の専決について（報告） ・県費負担教職員の任免等の内申について
令和６年３月２９日	５名	定例会 ・常陸太田市教育委員会規則の読点等の表記を改める規則の制定について ・常陸太田市教育委員会訓令の読点等の表記を改める訓令の制定について ・常陸太田市教育委員会告示の読点等の表記を改める告示の制定について ・常陸太田市教育委員会規程の読点等の表記を改める規程の制定について ・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について ・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について ・常陸太田市招致外国青年任用規則の一部改正について ・常陸太田市学校給食センター組織運営規則の一部改正について ・常陸太田市立幼稚園通園バス利用要項の廃止について ・常陸太田市教育委員会教育長の権限に属する事務の一部を小学校及び中学校の校長並びに幼稚園の園長に委任する規定の一部改正について ・常陸太田市英語検定料助成金交付要項の一部改正について ・常陸太田市教育委員会事務局処務規定の一部改正について ・学校薬剤師の委嘱について ・常陸太田市公民館主事の任命について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市立学校運営協議会委員の委嘱及び任命について

		・常陸太田市スポーツ推進計画の計画期間の延長について
令和４年度 教育委員会の会議開催状況 1 開催回数 14回（定例会12回、臨時会1回、協議会1回） 2 議案件数 38件 3 報告件数 10件 4 選挙件数 0件		

令和6年度（令和5年度事業）
教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和6年8月
常陸太田市教育委員会